

善光寺平が育んできた伝統的な品種「竜眼」のワイン

「長野竜眼“ドラゴンアイ”2020」発売

購入者限定オンラインイベント初開催

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」などの専門店を全国に約140店舗展開している、食品製造小売企業（食品SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）は、2021年2月5日（金）より、「長野竜眼“ドラゴンアイ”2020」を発売いたします。また、初の試みとして、2月20日（土）16時よりオンラインイベント（対象店舗にてお買い上げいただいた方30名様限定）を開催いたします。

長野竜眼“ドラゴンアイ”2020

洋なしや白い花のような甘くて優しい柔らかな香り、口に含むと瑞々しくて繊細な口当たり、あとからバランスの良い爽やかな酸味が心地良く余韻として残ります。和食をはじめ、様々な料理に合わせやすいワイン。2020年は特にぶどうの出来が良く、過去最高と自負できる程に最大限の香りが出せました。サンクゼールの醸造担当だけでなく社員からも好評。自信をもっておすすめします。製造本数は約8,500本、販売は通信販売、全国のサンクゼール店舗及び久世福商店店舗。

■ぶどう品種：竜眼100% ■産地：長野県長野市100% ■醸造地：長野県上水内郡飯綱町
■容量：750ml ■アルコール分：10% ■価格：¥1,800（税抜）



オンラインイベント「サンクゼールワイナリー”竜眼”新酒飲み会2021」

サンクゼールでは、今年初の試みといたしまして、「長野竜眼“ドラゴンアイ”2020」を対象店舗にてお買い上げいただいた方30名様限定で、オンラインイベント「サンクゼールワイナリー”竜眼”新酒飲み会2021」を開催いたします。お買い上げいただいた「長野竜眼“ドラゴンアイ”2020」を参加者で同時に開栓、乾杯したり、サンクゼールの醸造責任者や、サンクゼールの竜眼ワインづくりのために長きにわたってお世話になっている契約ぶどう生産者様とお話いただいたり、ワインに合うお料理やおつまみのご紹介、クイズなどを行う予定です。竜眼だけでなく、サンクゼールワインのファンの皆さまとワイン作り手との交流によって、コロナ禍のおうち時間をサンクゼールワインで楽しんでもらいたい。普段店頭だけではなかなか伝えきれない、竜眼という希少なぶどうの魅力やストーリーをお伝えしたく開催を企画しました。

日 時：2021年2月20日（土）16:00～17:30

条 件：サンクゼール公式オンラインショップ、サンクゼール本店、
門前店にて、「長野竜眼“ドラゴンアイ”2020」をお買い上げいただき、
お申し込みをされた先着30名様限定

会 費：無料





善光寺ぶどう「竜眼」の歴史とサンクゼールの竜眼ワインづくり

竜眼は「善光寺ぶどう」とも呼ばれ、奈良時代に中国から海を渡り善光寺平で栽培されてきたと言われていいます。樹の生長する勢いが強く、ぶどう棚でたくさんの実をつけます。皮の色がほんのりピンク色の白ぶどうで、名前の由来の一説でもありますが、竜の目玉のように実が一粒一粒大きく、果肉が多くてジューシー、昔は生食用ぶどうとして売られていたそうです。

竜眼はワイン用ぶどう品種のシャルドネなどに比べると、香りや味などが弱いため、その個性をいかに見出し、引き出してワインに仕上げるかに長年、苦労を重ねてきました。発酵の仕方や酵母を変えて試行錯誤を重ねることで成果が現れ、納得のいくワインができ今に至ります。それでも、繊細なぶどうということに変わりはなく、毎年、発酵などにおいて最大限の神経をつかって醸造を行っています。

サンクゼールでは2003年から竜眼ワインの醸造を始めました。その頃は、竜眼を栽培しているサンクゼールの契約ぶどう生産者は長野市を中心に数軒ありました。しかしながら、元来竜眼自体の単価が市場で低かったため、生食用のシャインマスカットやナガノパープルなど単価の高いぶどう栽培へ次々と転向されて、竜眼の契約ぶどう生産者の軒数は年々減少、3年前からはたった1軒のみとなってしまいました。

年々竜眼の収量が減少していく一方で、サンクゼールの竜眼ワインは毎年楽しみに待っていてくださるリピーターが徐々に増えてきており、海外の方にも注目されるようになっていました。サンクゼールとしては生産を増やしてもらいたい、と交渉を続け、安心して竜眼を栽培していただけるように、もっとたくさんの方に竜眼を栽培していただけるように、昨年、竜眼原料の買い取り価格を見直しました。今後は竜眼栽培に関する組合設立を促すなど、組織で竜眼栽培の活性化を図りたいと考えています。歴史ある善光寺ぶどうをその名の由来通り、善光寺平で守り、未来へ残していきたい。そのためにはサンクゼールのお客様と、ぶどう生産者の皆様のご協力が必要です。これからも長野県の大事な財産である善光寺ぶどう、竜眼を守り、より多くの方に知っていただけるような活動を行ってまいります。

ご多用中とは存じますが、ご取材賜りますように宜しくお願い申し上げます。